

平成29年度県民アンケート調査(速報)結果 概要版

	質 問 の 分 類	問題番号	ページ
1	生活全般について	問1～10	1～4
2	生活に関する重要度・満足度について	問11	5～6
3	観光振興について	問12・13	7
4	雇用対策について	問15・16	8
5	健康づくりについて	問20	9
6	女性の活躍推進について	問21～23	10
7	子育て支援について	問24	11
8	文化振興について	問25・26	12
9	スポーツ振興について	問28・30	13
10	安全・安心の確保について	問31・32 ・35	14～15
11	景観・環境の保全と創造について	問38・39	16
12	エネルギー政策の推進について	問40・42	17
13	回答者に関すること	問50	18

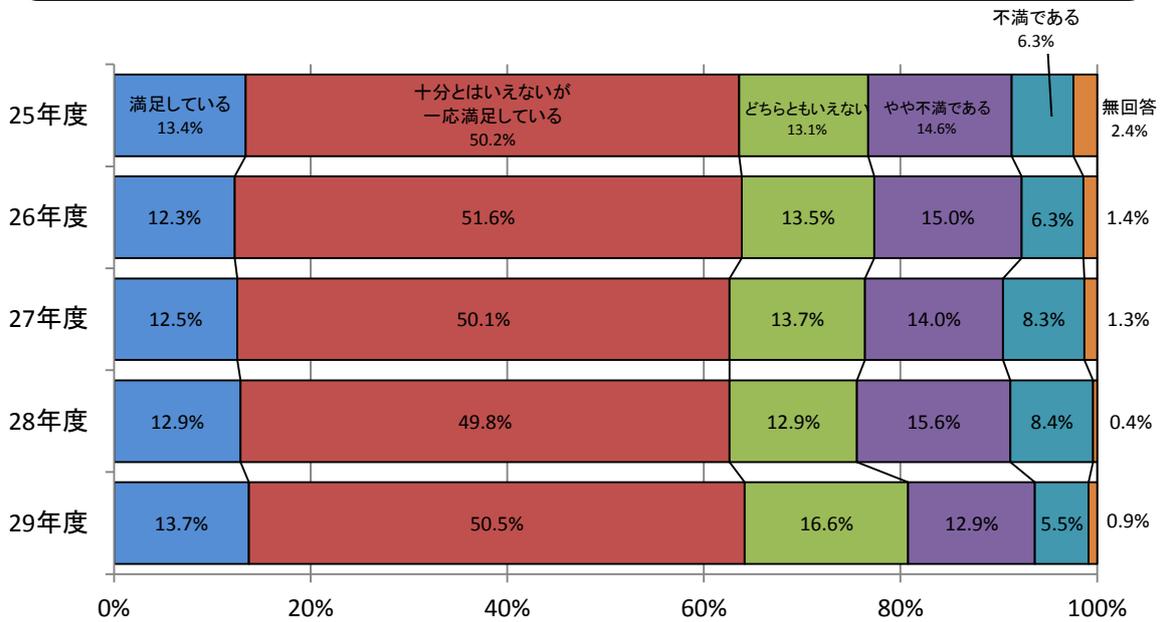
本文内の統計数値は、四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

平成29年8月

1. 生活全般について

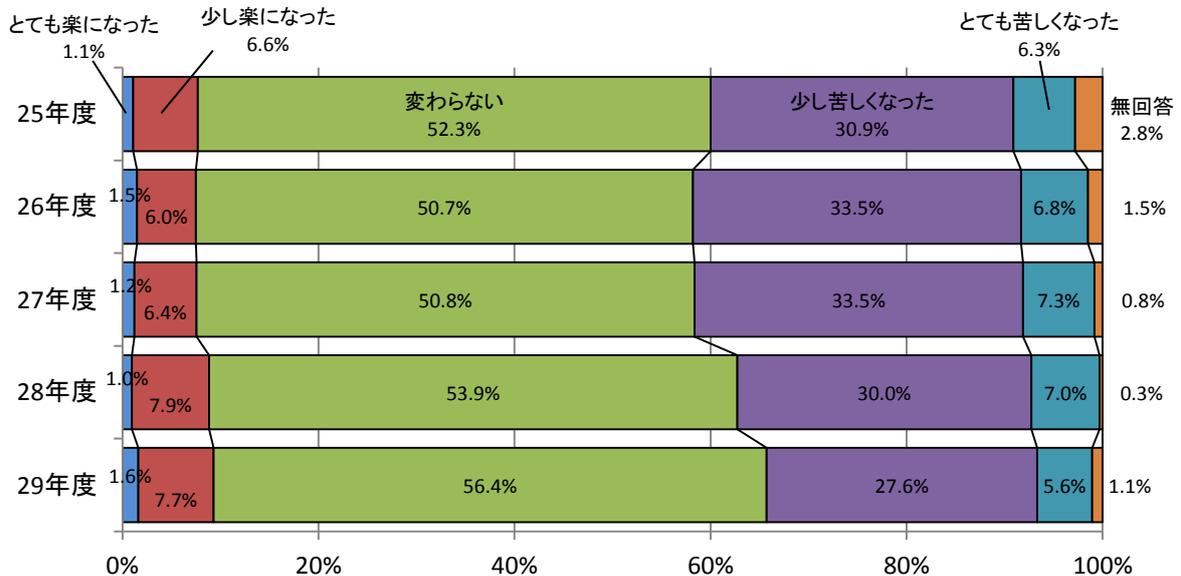
問1 現在の暮らし向きの実感

・「満足している」または「十分とはいえないが一応満足している」(64.2%)は、昨年(62.6%)より1.6ポイント増加した。

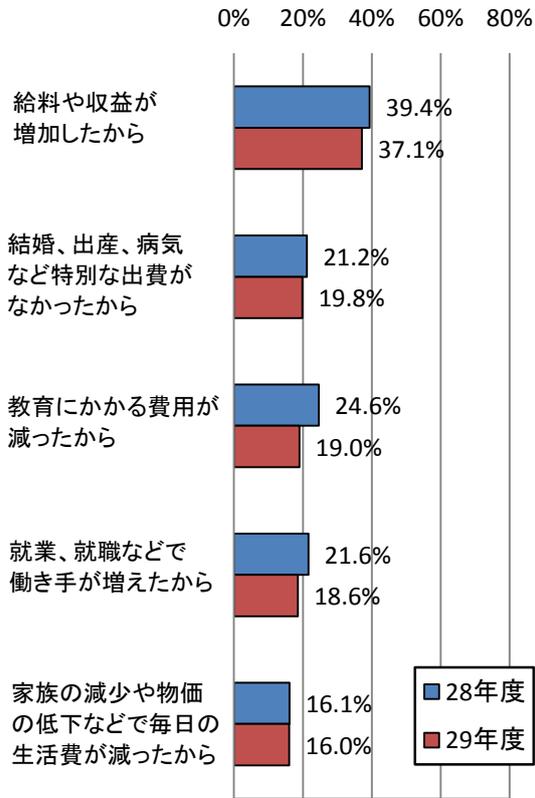


問2 1年前と比較した暮らし向きの実感

・「とても楽になった」または「少し楽になった」(9.3%)は、昨年(8.8%)より0.5ポイント増加した。

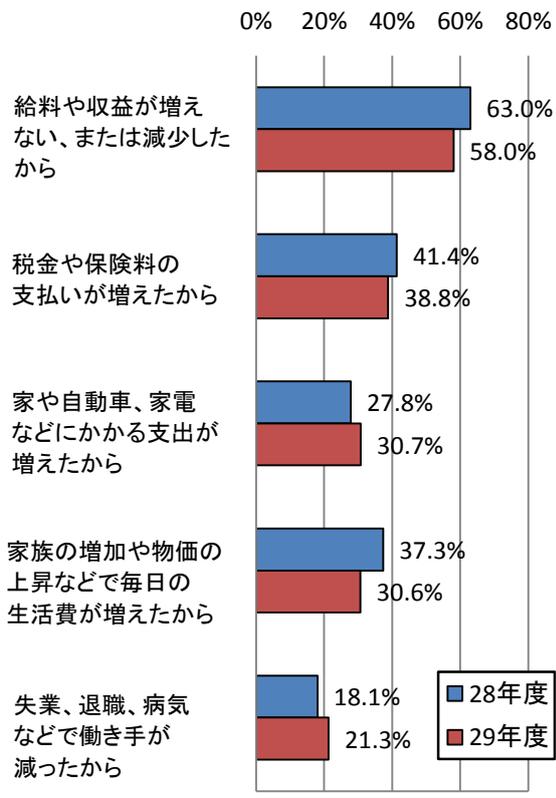


問3 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても楽になった」または「少し楽になった」と答えた理由



※5つ以内で複数回答
※その他除く上位5項目

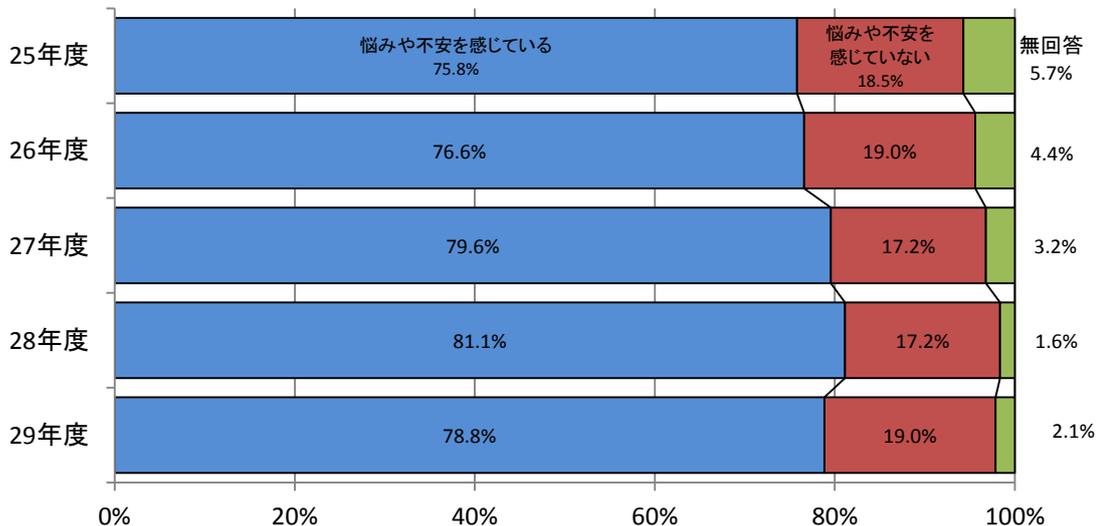
問4 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由



※5つ以内で複数回答
※上位5項目

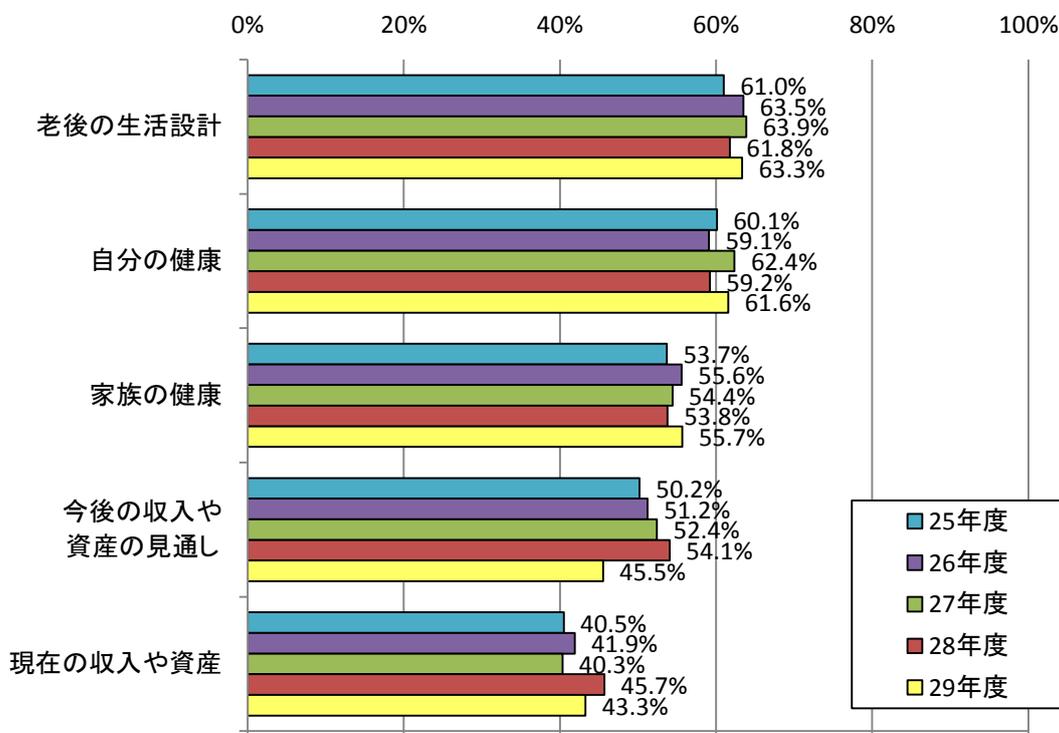
問5 日頃の生活での悩みや不安の有無

・「悩みや不安を感じている」(78.8%)は、昨年(81.1%)より2.3ポイント減少。一方、「悩みや不安を感じていない」(19.0%)は、昨年(17.2%)より1.8ポイント増加。



問6 日頃の生活での悩みや不安の内容

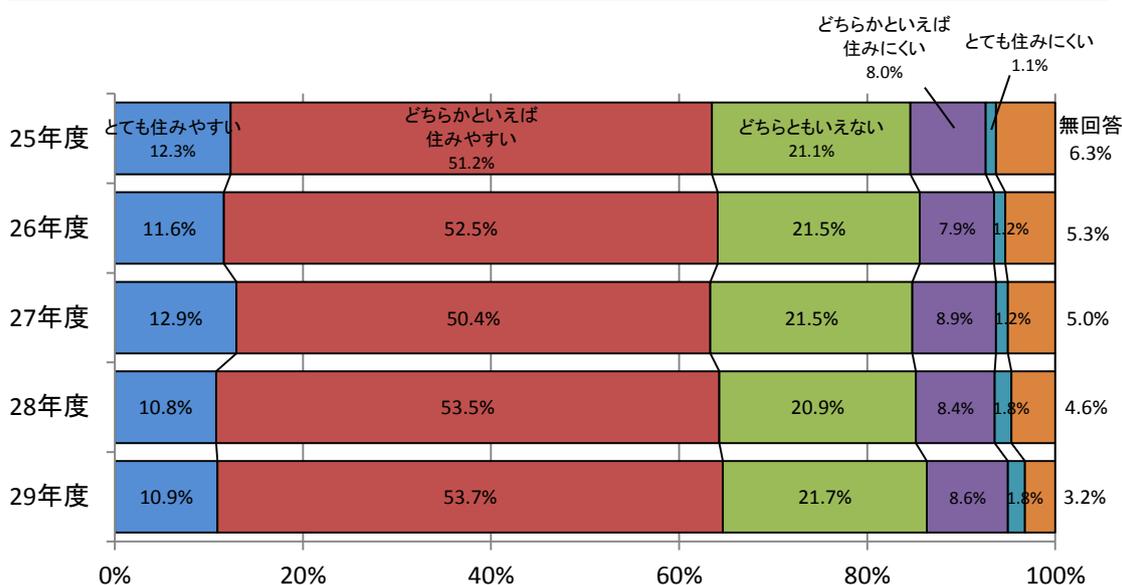
・「老後の生活設計」(63.3%)は昨年(61.8%)より1.5ポイント増加し、「自分の健康」(61.6%)は昨年(59.2%)より2.4ポイント増加した。一方、「今後の収入や資産の見通し」(45.5%)は昨年(54.1%)より8.6ポイント減少した。



※5つ以内で複数回答
※上位5項目

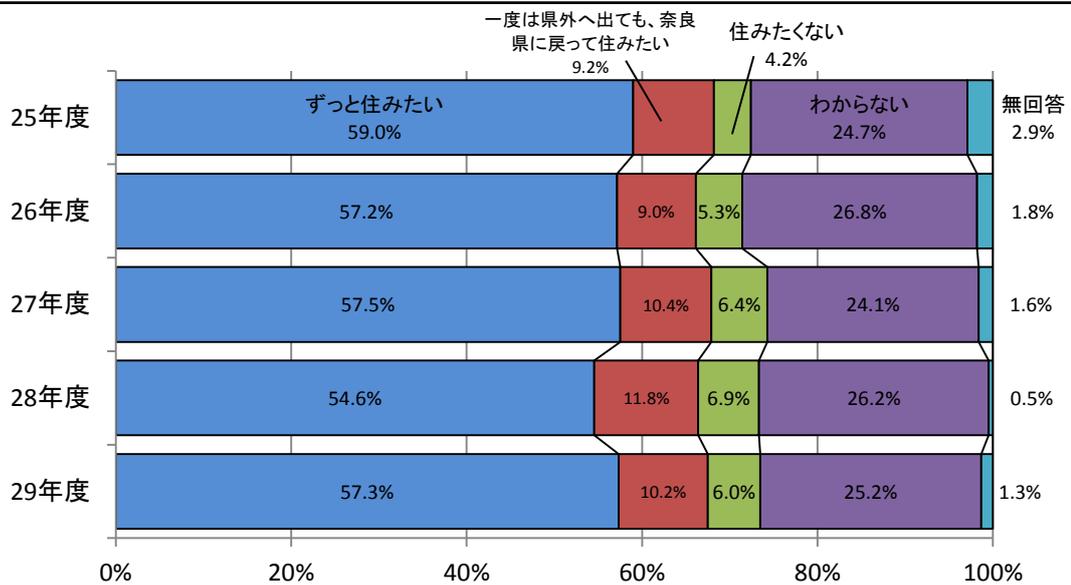
問7 奈良県の住みやすさの評価

・「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」(64.7%)は昨年(64.3%)より0.4ポイント増加した。



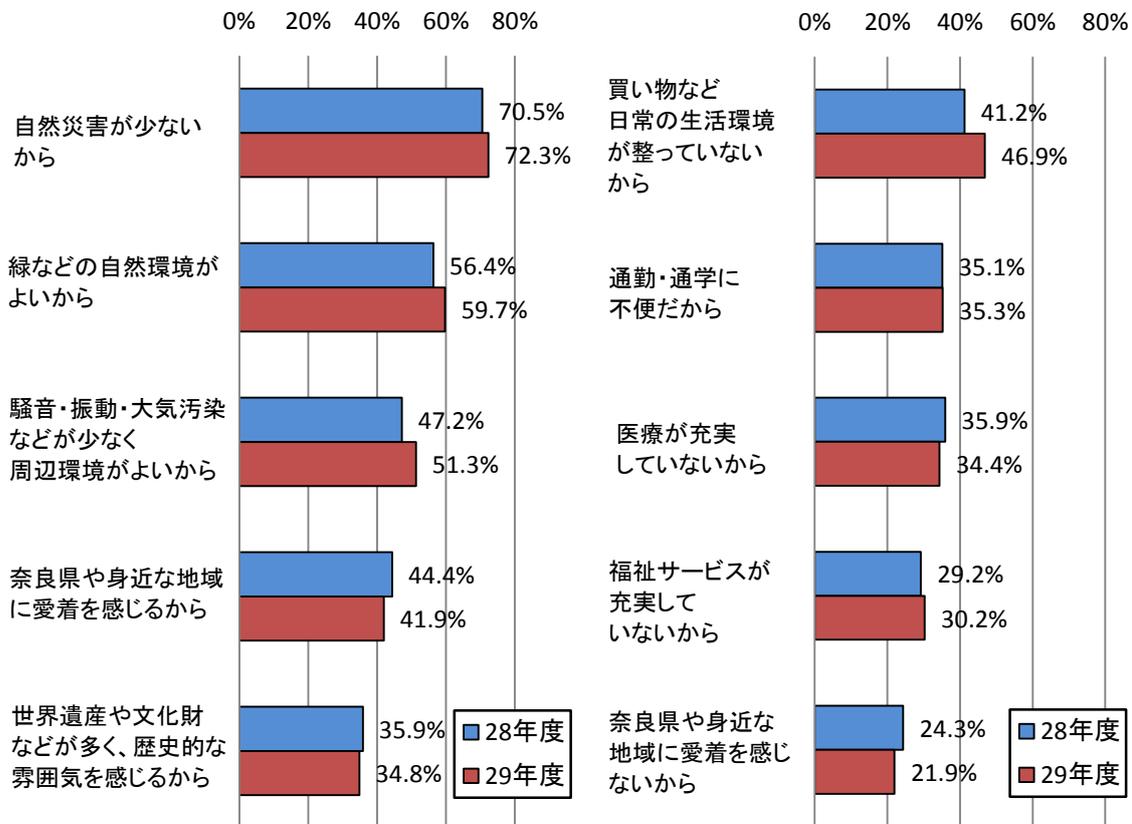
問8 将来の奈良県での定住意向

・「ずっと住みたい」または「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」(67.5%)は、昨年(66.4%)より1.1ポイント増加した。



問9 将来的に奈良県に「ずっと住みたい」または「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と答えた理由

問10 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由



※5つ以内で複数回答
※上位5項目

※5つ以内で複数回答
※その他除く上位5項目

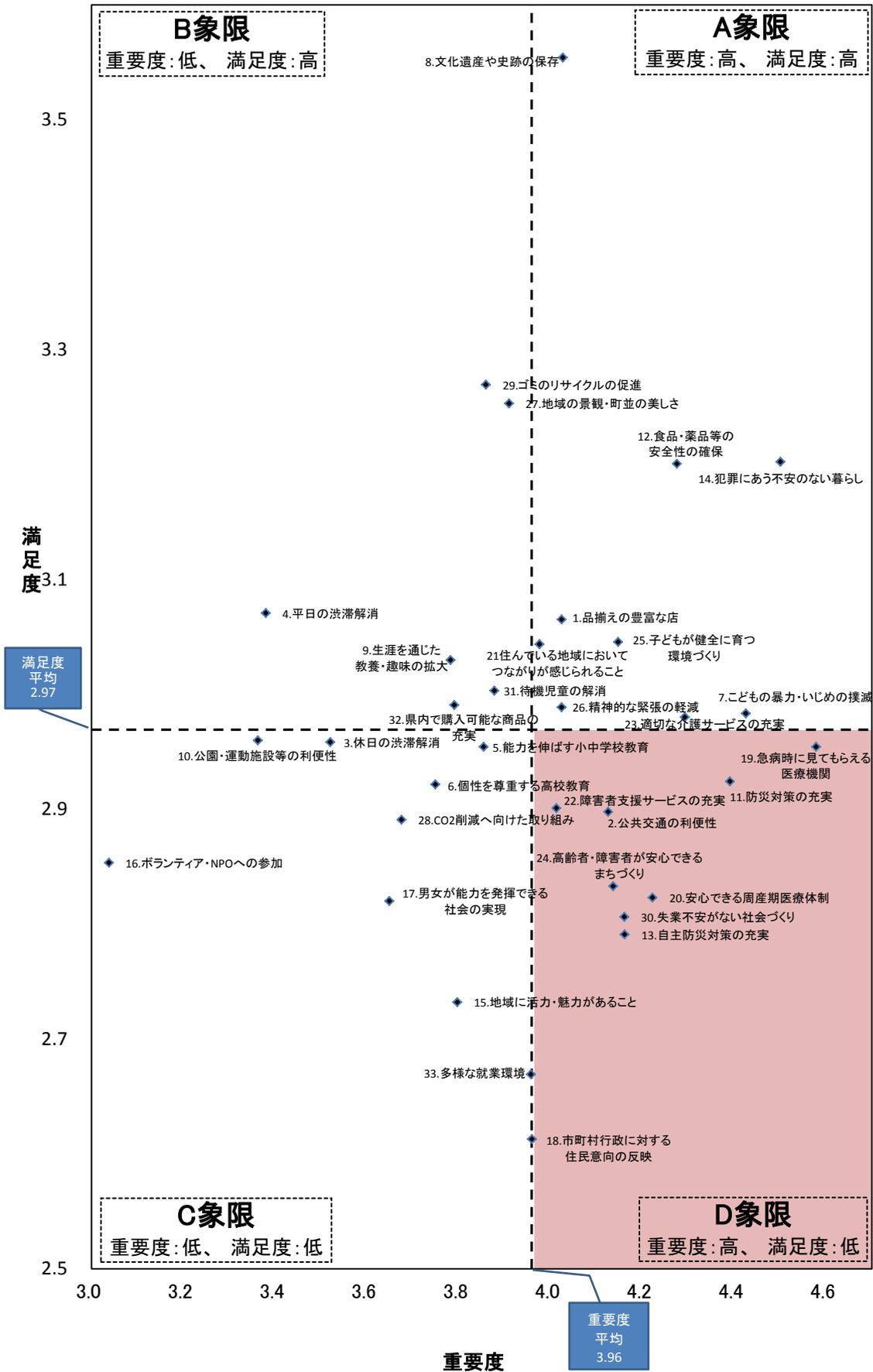
2. 生活に関する重要度・満足度について

問11 生活に関する重要度・満足度(5段階ポイント評価)

- ・重要度の1位は「急病時に診てもらえる医療機関があること」(4.58ポイント)で、昨年も1位(4.57ポイント)
- ・満足度の1位は「文化遺産や史跡が大事にされること」(3.55ポイント)で、昨年も1位(3.58ポイント)

設問番号	項目	重要度					満足度					象限	
		H29順位	H27	H28	H29	ポイント差(H29-28)	H29順位	H27	H28	H29	ポイント差(H29-28)	H28	H29
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	14	3.95	3.90	4.02	0.12	7	2.94	3.09	3.06	△ 0.03	B	A
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	12	4.10	4.11	4.13	0.02	22	2.81	3.01	2.90	△ 0.11	A	D
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	32	3.39	3.42	3.36	△ 0.06	16	2.97	2.98	2.96	△ 0.02	B	C
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	31	3.38	3.38	3.38	0.00	6	3.05	3.08	3.07	△ 0.01	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	23	3.89	3.84	3.85	0.01	18	2.91	2.96	2.95	△ 0.01	B	C
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	27	3.79	3.76	3.75	△ 0.01	20	2.88	2.91	2.92	0.01	C	C
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	3	4.46	4.42	4.43	0.01	14	2.90	2.94	2.98	0.04	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	13	4.00	3.96	4.03	0.07	1	3.52	3.58	3.55	△ 0.03	A	A
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	26	3.83	3.77	3.78	0.01	10	2.99	3.02	3.03	0.01	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	30	3.53	3.53	3.52	△ 0.01	16	2.86	2.92	2.96	0.04	C	C
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4	4.42	4.42	4.39	△ 0.03	20	2.83	2.83	2.92	0.09	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	6	4.32	4.29	4.28	△ 0.01	4	3.13	3.18	3.20	0.02	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	8	4.16	4.19	4.16	△ 0.03	30	2.76	2.72	2.79	0.07	D	D
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	2	4.53	4.50	4.50	0.00	4	3.09	3.14	3.20	0.06	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	24	3.84	3.79	3.80	0.01	31	2.62	2.69	2.73	0.04	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	33	3.06	3.03	3.04	0.01	25	2.82	2.84	2.85	0.01	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	29	3.72	3.67	3.65	△ 0.02	27	2.75	2.78	2.82	0.04	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	18	4.03	4.00	3.96	△ 0.04	33	2.53	2.53	2.61	0.08	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	1	4.62	4.57	4.58	0.01	18	2.84	2.84	2.95	0.11	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	7	4.31	4.24	4.22	△ 0.02	27	2.70	2.78	2.82	0.04	D	D
21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	17	-	3.92	3.98	0.06	9	-	2.98	3.04	0.06	B	A
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	16	4.13	3.99	4.01	0.02	22	2.82	2.88	2.90	0.02	D	D
23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	5	4.40	4.26	4.29	0.03	14	2.87	2.92	2.98	0.06	D	A
24	高齢者や障害者が安心してまちなかへ出かけられること	11	4.21	4.12	4.14	0.02	26	2.74	2.80	2.83	0.03	D	D
25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	10	4.22	4.15	4.15	0.00	8	2.95	2.98	3.05	0.07	A	A
26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	14	4.03	4.06	4.02	△ 0.04	12	2.94	2.92	2.99	0.07	D	A
27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	20	3.92	3.90	3.91	0.01	3	3.16	3.19	3.25	0.06	B	B
28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	28	3.75	3.67	3.68	0.01	24	2.88	2.86	2.89	0.03	C	C
29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	22	3.95	3.84	3.86	0.02	2	3.24	3.15	3.27	0.12	B	B
30	失業の不安がなく働けること	8	4.26	4.22	4.16	△ 0.06	29	2.70	2.73	2.81	0.08	D	D
31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	21	3.94	3.93	3.88	△ 0.05	11	2.91	2.90	3.00	0.10	C	B
32	県内で買いたいものが販売されていること	25	3.76	3.81	3.79	△ 0.02	12	2.98	2.94	2.99	0.05	B	B
33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	18	4.03	4.03	3.96	△ 0.07	32	2.59	2.59	2.67	0.08	D	C
	平均		4.00	3.96	3.96	0.00		2.90	2.93	2.97	0.04		

問11 生活に関する重要度・満足度(H29)の分布図

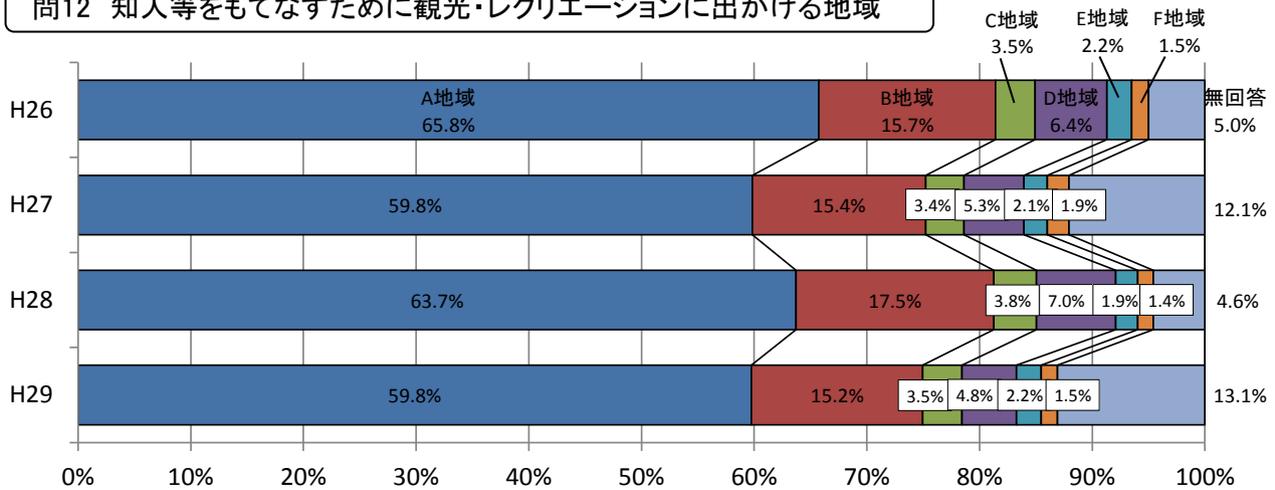


3. 観光振興について

問12・13 知人等をもてなすために出かける場所について

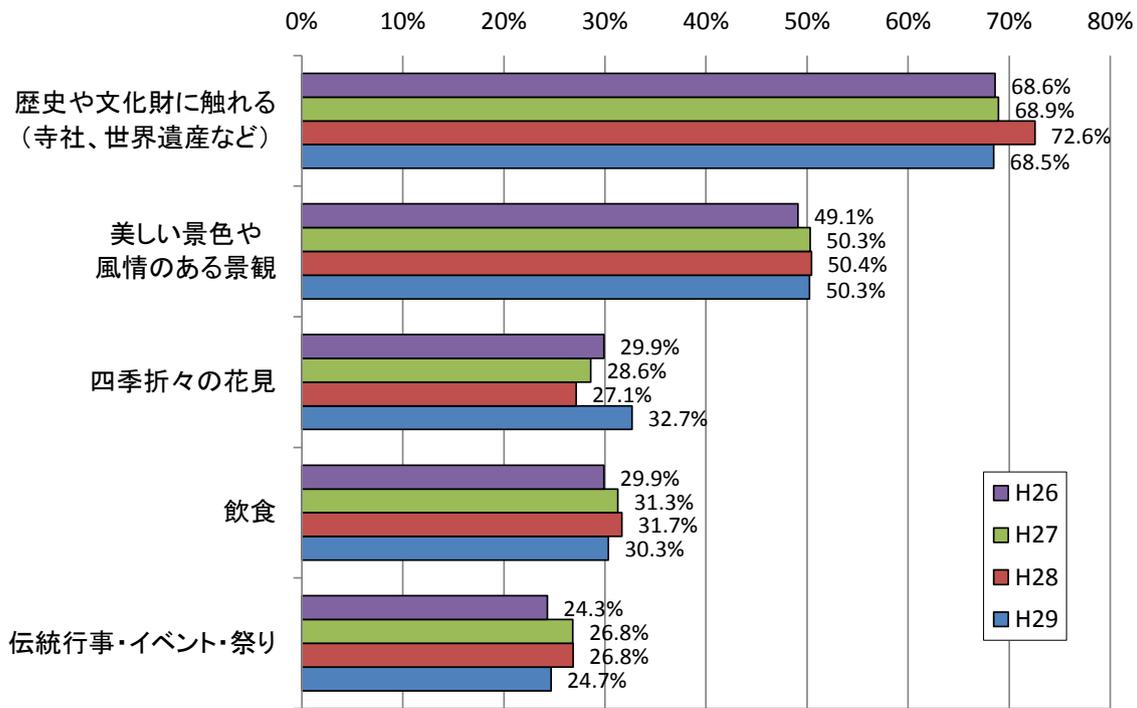
- ・奈良県内で知人等をもてなすために「A地域」に出かける人の割合は59.8%で、昨年(63.7%)より3.9ポイント減少した。
- ・問12で選んだ場所に出かける目的の1位は、昨年同様「歴史や文化財に触れる(寺社、世界遺産など)」(68.5%)で、昨年(72.6%)より4.1ポイント減少した。

問12 知人等をもてなすために観光・レクリエーションに出かける地域



- A地域：奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、広陵町、山添村、安堵町、上牧町、河合町
 B地域：大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村、高取町、川西町、田原本町、三宅町
 C地域：宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
 D地域：吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
 E地域：五條市、野迫川村、十津川村
 F地域：川上村、上北山村、下北山村

問13 問12で選択した地域へ観光・レクリエーションに出かける目的



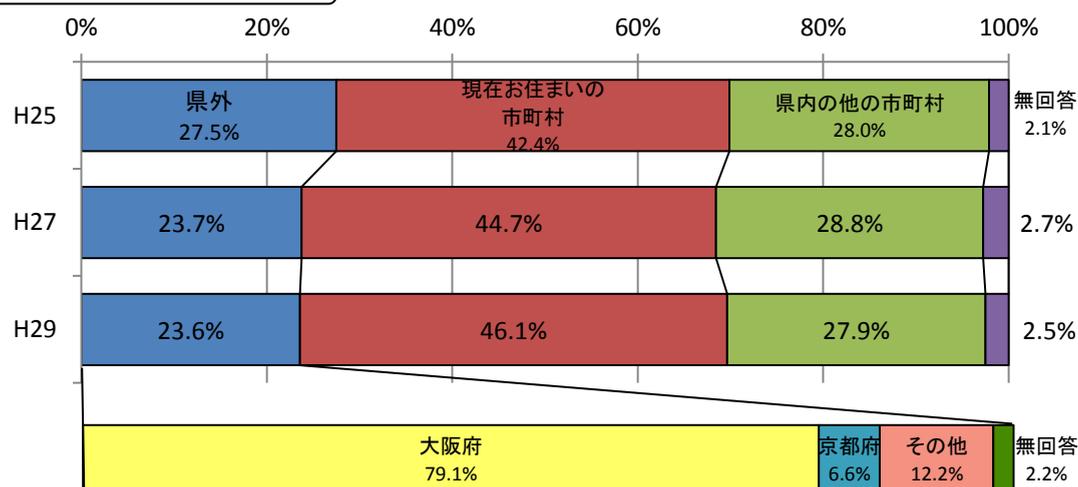
※4つ以内で複数回答
 ※上位5項目
 ※平成28年度調査より選択肢に1項目追加したため、単純比較はできない

4. 雇用対策について

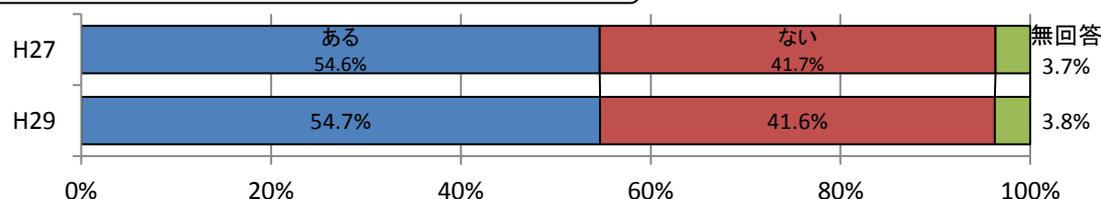
問15・16 働いている場所について

- ・「県外」で働いている人は23.6%で、平成27年(23.7%)とほぼ変わらなかった。「県外」の勤務先の1位は「大阪府」(79.1%)。
- ・「県外」で働いている人の内、県内で働きたいと考えたことがある人は54.7%で、平成27年とほぼ変わらなかった。
- ・県内で働きたいと考えたことがある人が県外で働いている理由は、「県内に是非とも働きたいと思う会社がないから」(22.9%)が多く、平成27年(24.2%)より1.3ポイント減少した。

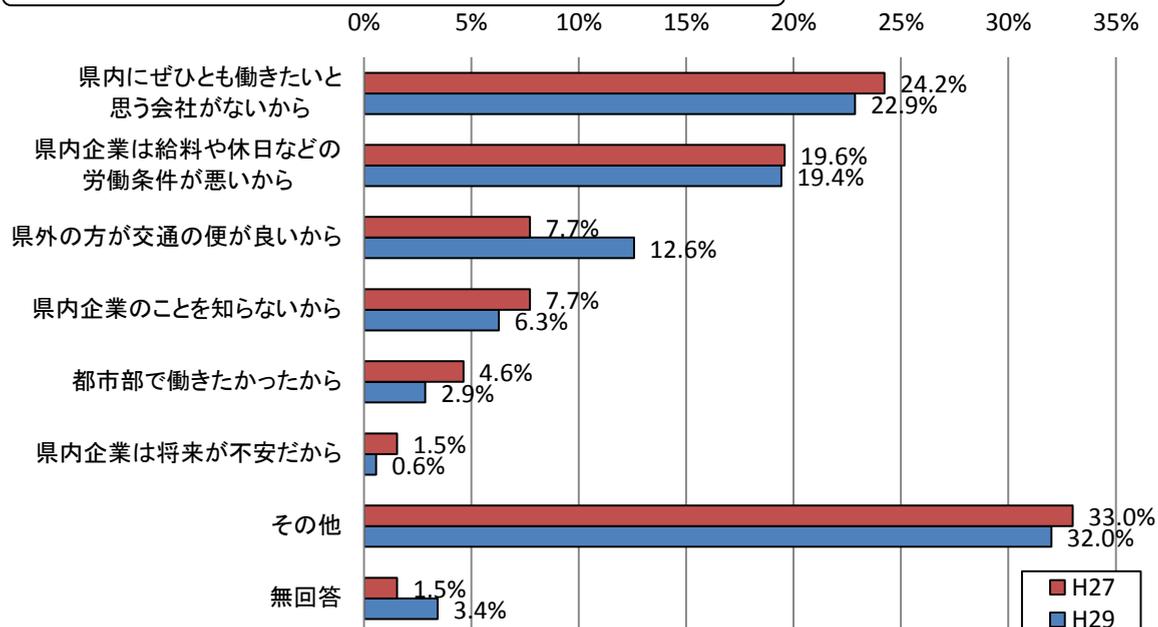
問15 働いている場所



問16 県外で働いている人の、県内で働く意向



問16 県内で働く意向のある人が、県外で働いている理由

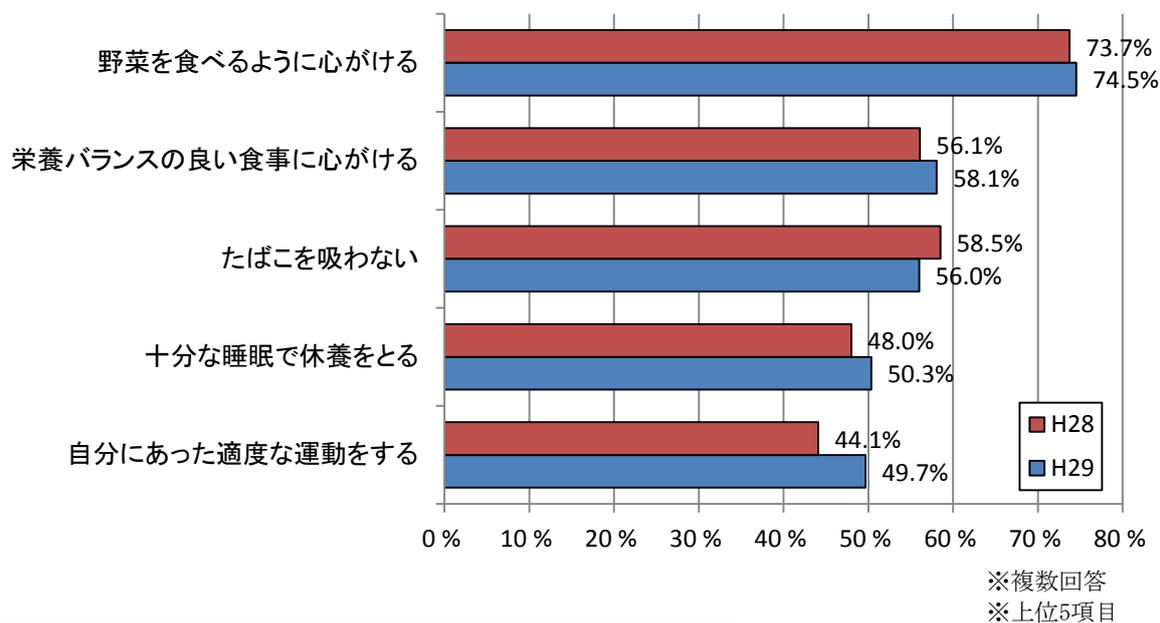


5. 健康づくりについて

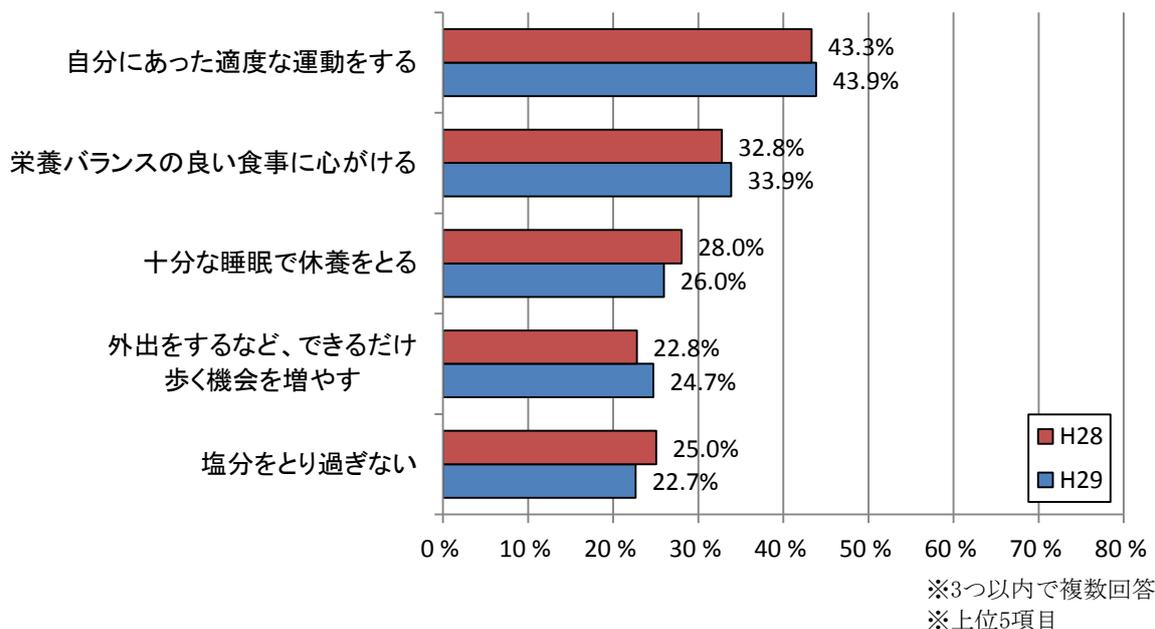
問20 健康づくりのためにしたこと、今後したい健康づくりについて

- ・この1年間に自らの健康づくりのためにしたことは、「野菜を食べるように心がける」(74.5%)が1位、「栄養バランスの良い食事に心がける」(58.1%)が2位だった。
- ・今後したい健康づくりについては、「自分にあった適度な運動をする」(43.9%)が1位、「栄養バランスの良い食事に心がける」(33.9%)が2位だった。

問20-① この1年間に自らの健康づくりのためにしたこと



問20-② 今後、どのような健康づくりをしたいか

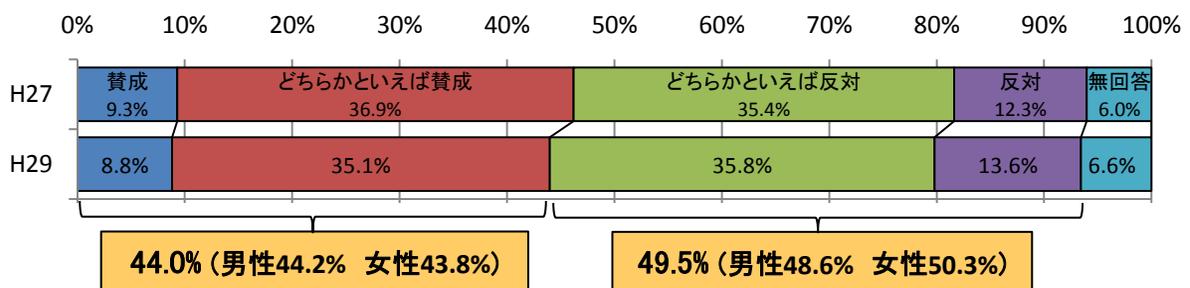


6. 女性の活躍推進について

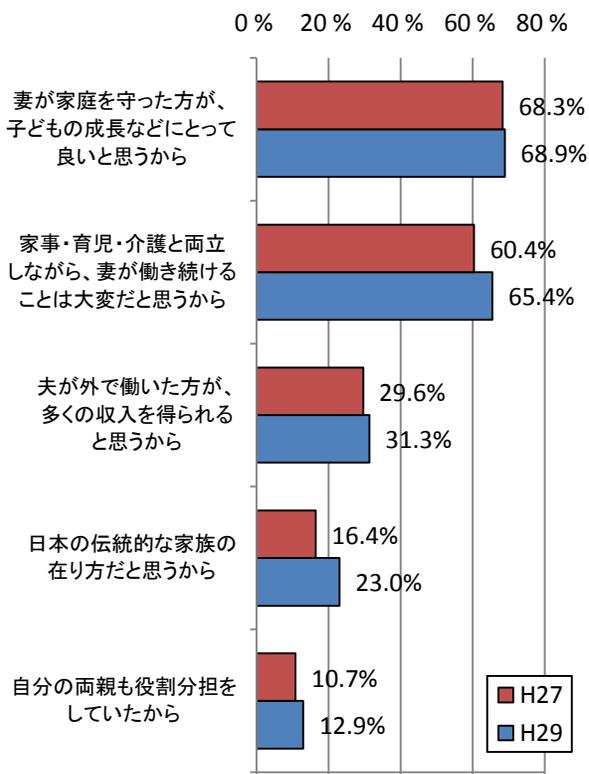
問21～23 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた人の割合は44.0%で、平成27年(46.2%)より2.2ポイント減少、「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた人の割合は49.5%で、平成27年(47.8%)より1.7ポイント増加した。
- ・「賛成」、「どちらかといえば賛成」の理由の1位は、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」(68.9%)で、平成27年(68.3%)より0.6ポイント増加した。
- ・「どちらかといえば反対」、「反対」の理由の1位は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」(64.9%)で、平成27年(64.2%)より0.7ポイント増加した。

問21 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の賛否

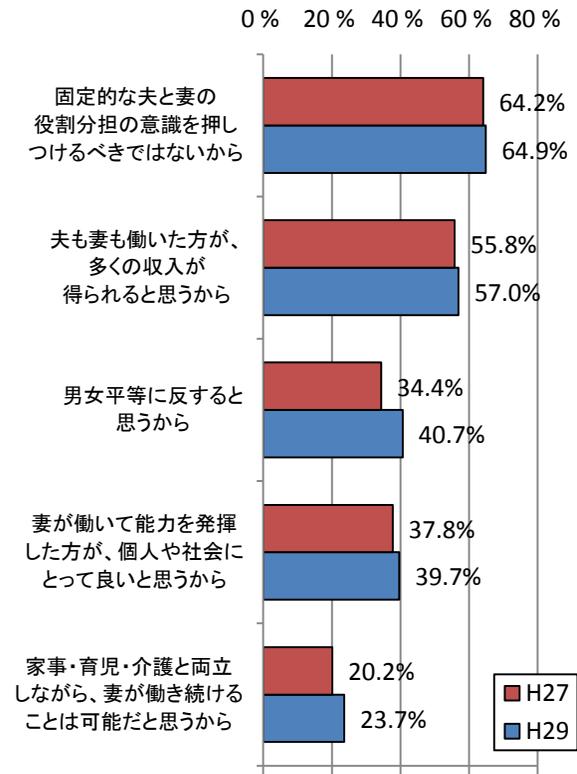


問22 「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた理由



※複数回答
※上位5項目

問23 「どちらかといえば反対」または「反対」と答えた理由

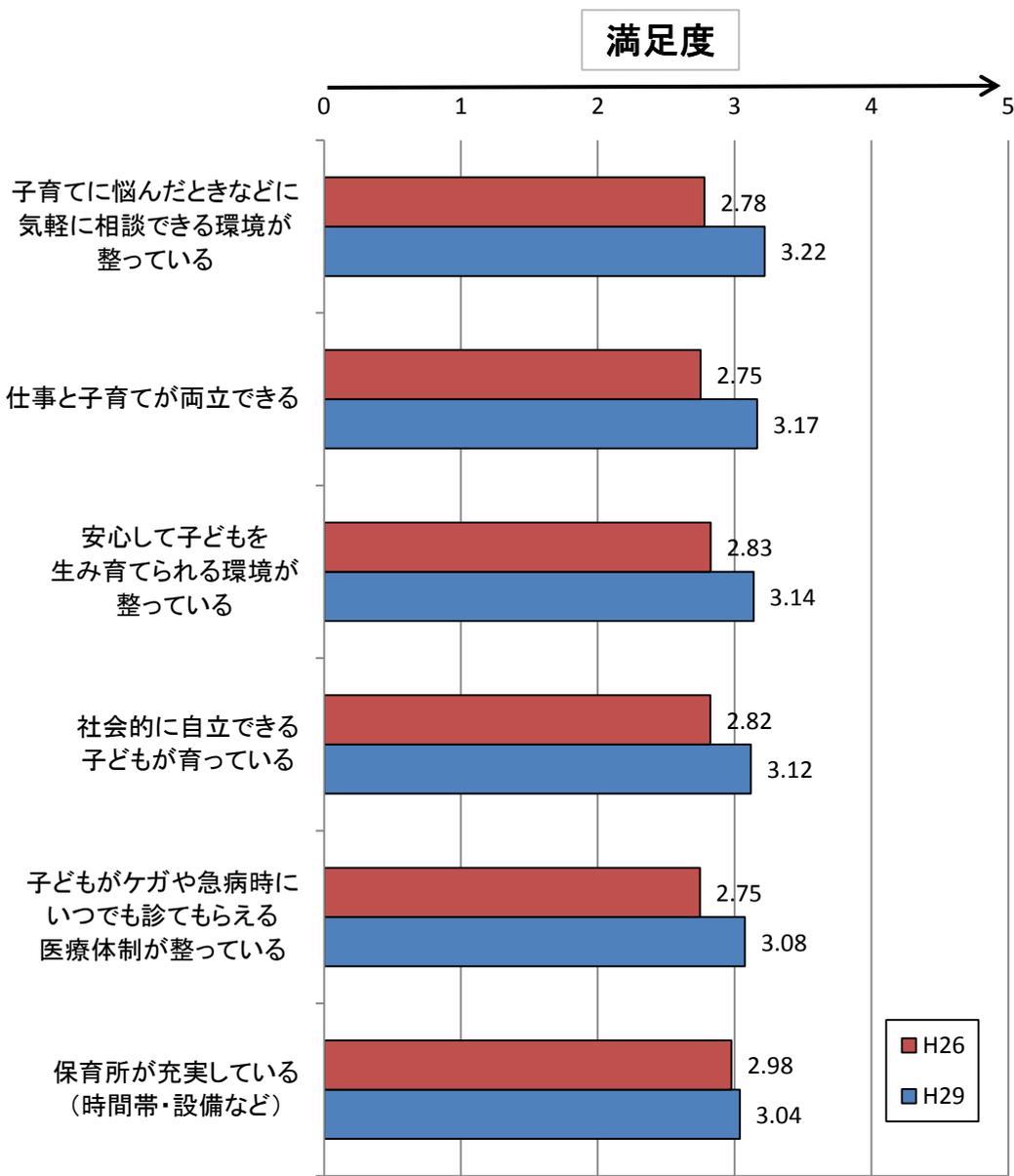


※複数回答
※上位5項目

7. 子育て支援について

問24 子育てに関する満足度について

- ・質問項目6項目にすべてについて、平成26年より満足度が上昇した。
- ・「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っている」が3.22ポイントで6項目中満足度が一番高く、平成26年(2.78ポイント)より、0.44ポイント増加した。
- ・「保育所が充実している(時間帯・設備など)」が3.04ポイントで、6項目中満足度が一番低く、平成26年(2.98ポイント)より、0.06ポイント増加した。



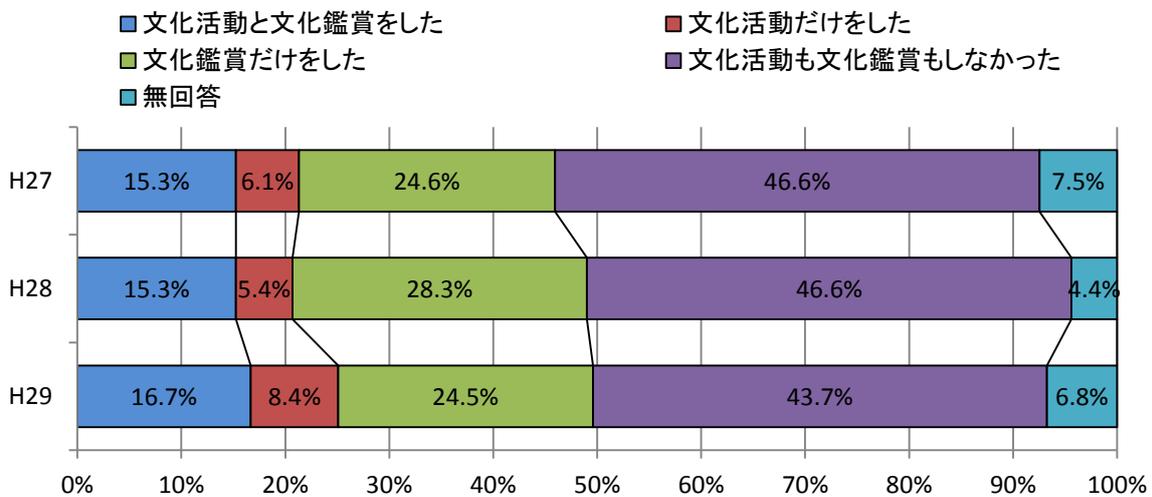
※5段階ポイント評価

8. 文化振興について

問25・26 文化活動・文化鑑賞の有無とミュージックフェストならの認知度について

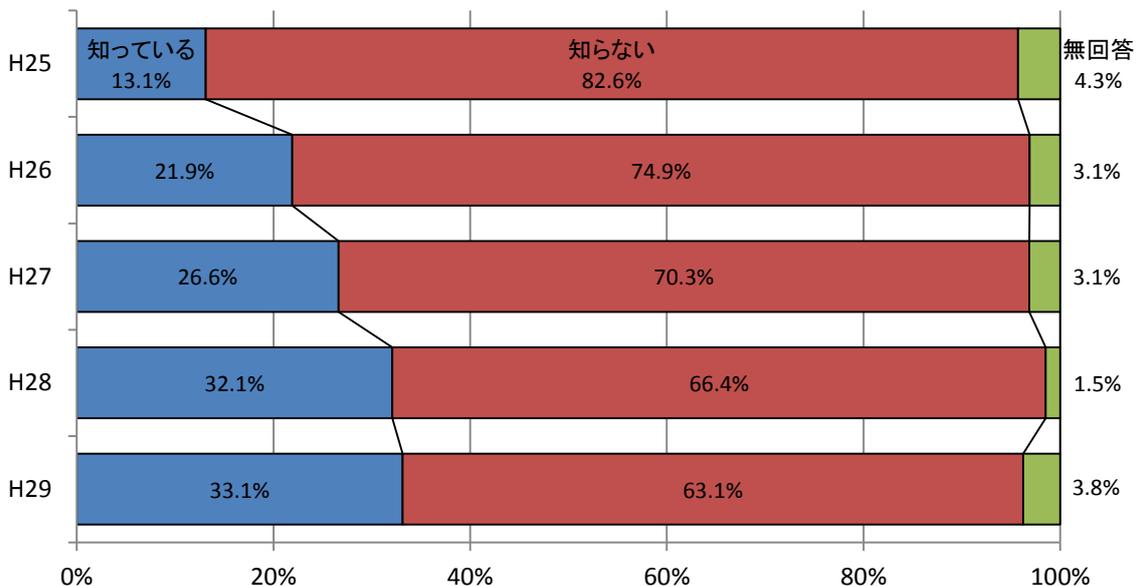
- ・この1年間に文化活動又は文化鑑賞をした人(49.6%)は、昨年(49.0%)に比べて0.6ポイント増加した。
- ・ミュージックフェストならの認知度は、「知っている」(33.1%)が昨年(32.1%)に比べて1.0ポイント増加した。

問25 この1年間の文化活動・文化鑑賞の有無



※文化活動とは、習い事や趣味の他、楽器の演奏やダンスなど自ら主体的に行う活動全般のこと。
 ※文化鑑賞とは、公演・展覧会など鑑賞全般のこと（家庭内での音楽鑑賞等を除く）。

問26 ミュージックフェストならの認知度

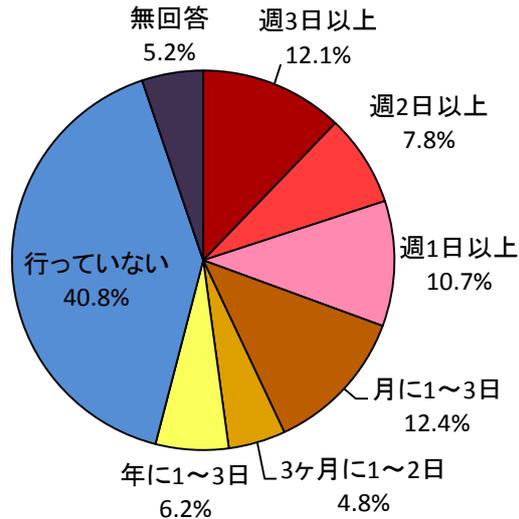


9. スポーツ振興について

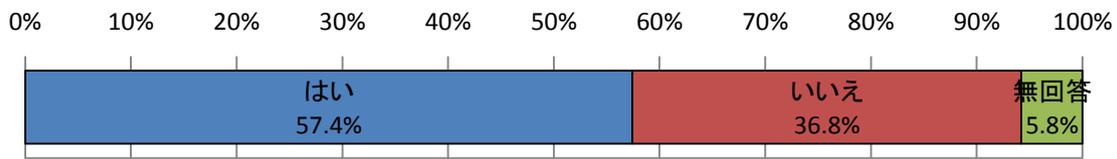
問28・30 運動やスポーツの実施について

- この1年間に運動やスポーツを1日でも行った人の割合は54.0%、「行っていない」人の割合は40.8%だった。
- 1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が減った、または増やしたいのに増やすことが出来ないと感じている人は57.4%で、その理由は「仕事や家事が忙しいから」(46.1%)が1位だった。

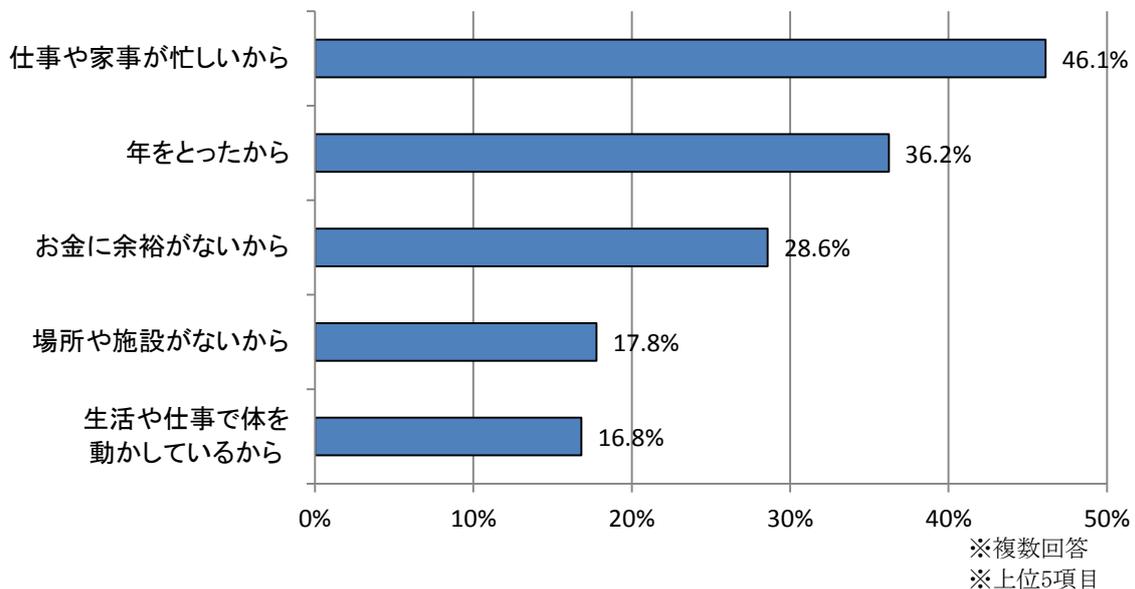
問28 この1年間に運動・スポーツを行った日数



問30 1年前と比べて運動・スポーツの頻度が減った、または増やしたいのに増やすことが出来ないと感じるか



問30 運動・スポーツの頻度が減った、または増やしたいのに増やすことが出来ない理由

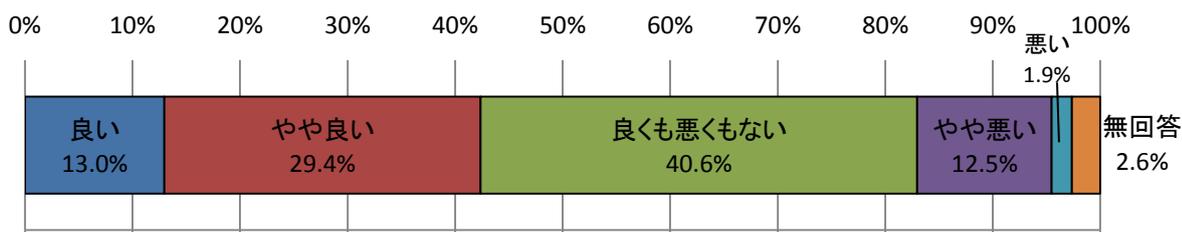


10 安全・安心の確保について

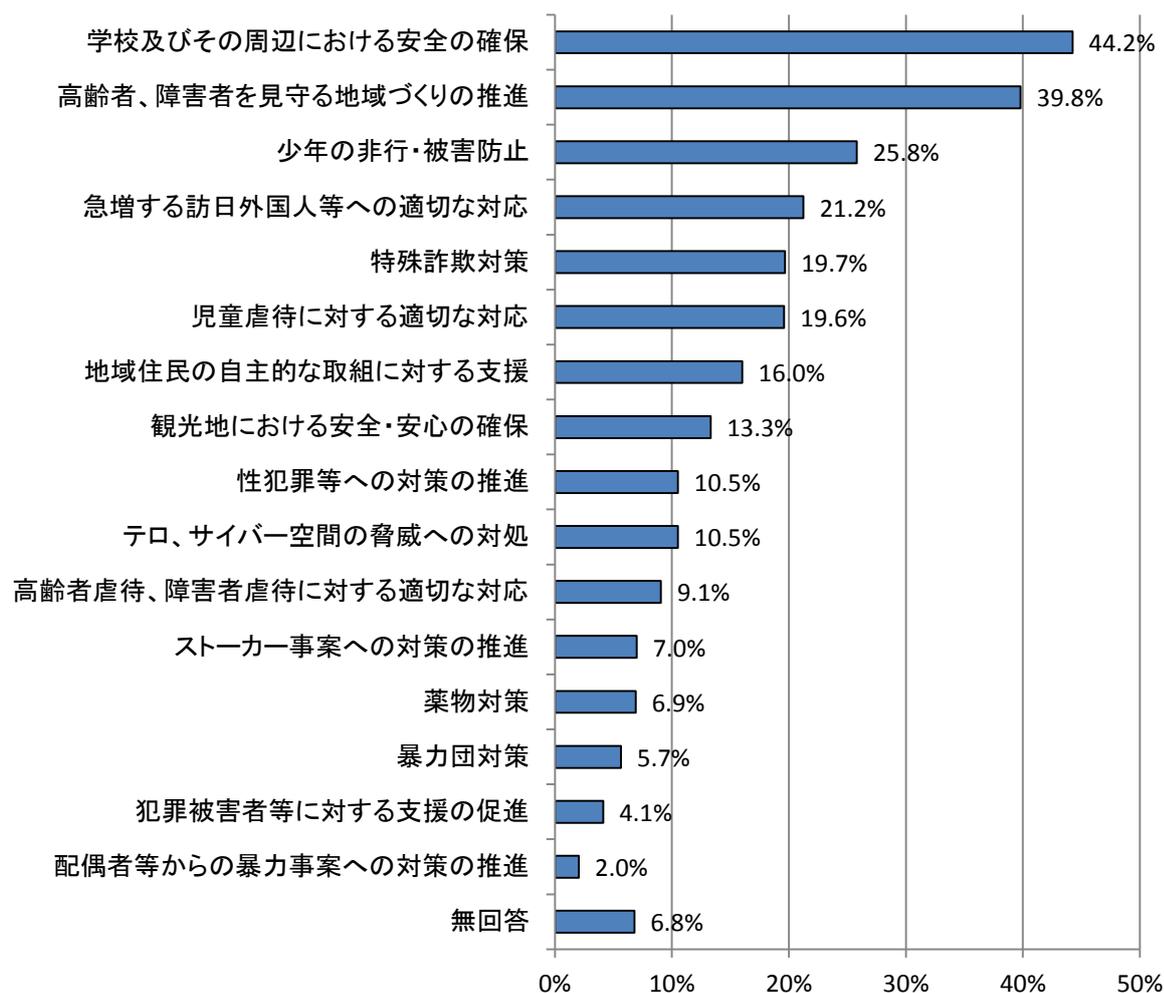
問31-32 治安情勢や犯罪等被害防止のための施策について

- ・現在の奈良県の治安情勢について、「良い」、「やや良い」と答えた人の割合は42.4%、「やや悪い」、「悪い」と答えた人の割合は14.4%だった。
- ・地方公共団体が犯罪やトラブル等の被害から県民を守るために優先して推進すべき施策は、「学校及びその周辺における安全の確保」（44.2%）が1位、「高齢者、障害者を見守る地域づくりの推進」（39.8%）が2位だった。

問31 現在の奈良県の治安情勢



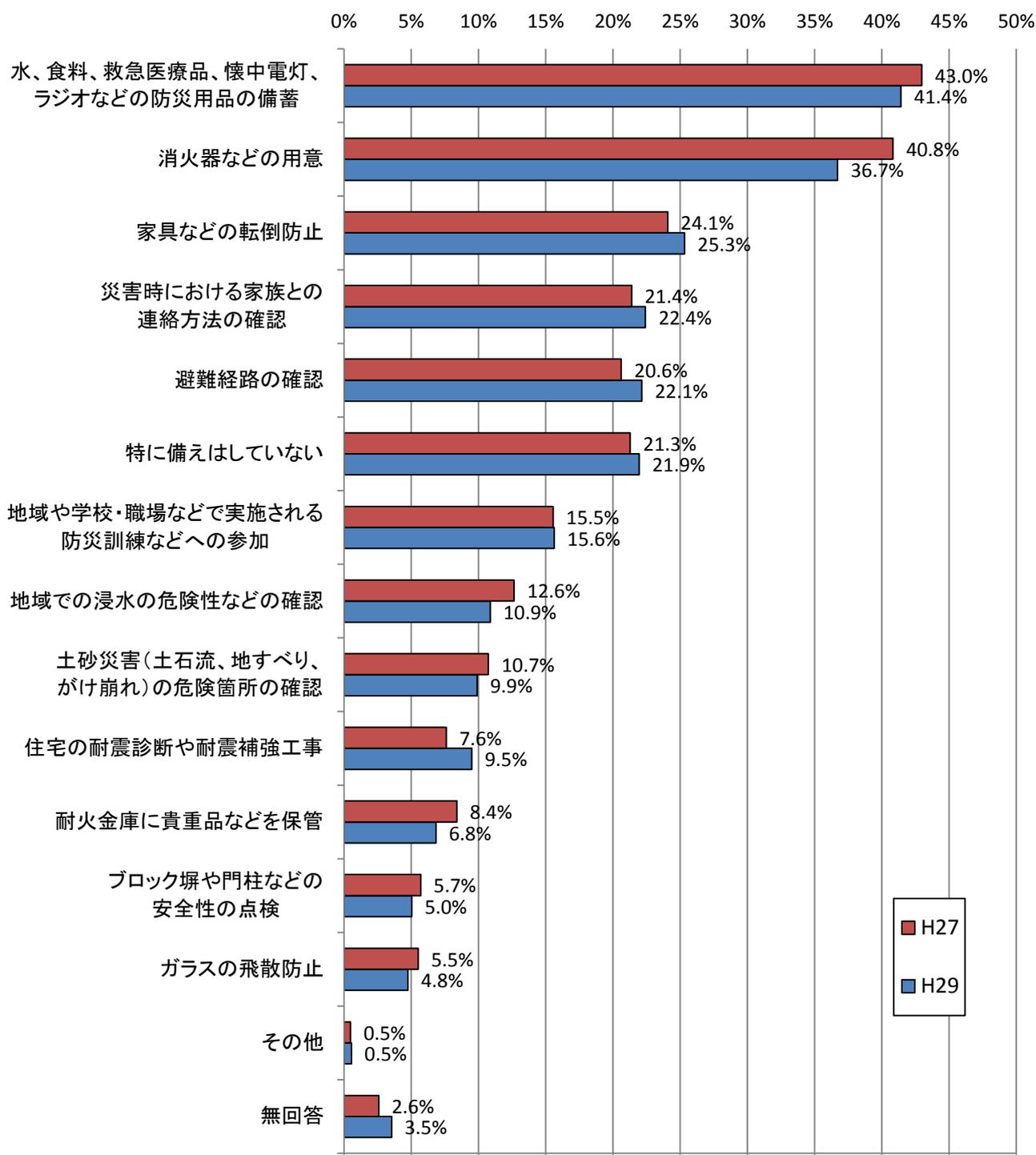
問32 地方公共団体が犯罪やトラブル等の被害から県民を守るために優先して推進すべき施策



※3つ以内で複数回答

問35 災害等への日頃の備えについて

- ・災害等への日頃の備えの1位は、平成27年に引き続き「水、食料、救急医療品、懐中電灯、ラジオなどの防災用品の備蓄」(41.4%)で、平成27年(43.0%)より1.6ポイント減少した。
- ・「特に備えはしていない」(21.9%)は、平成27年(21.3%)より0.6ポイント増加した。



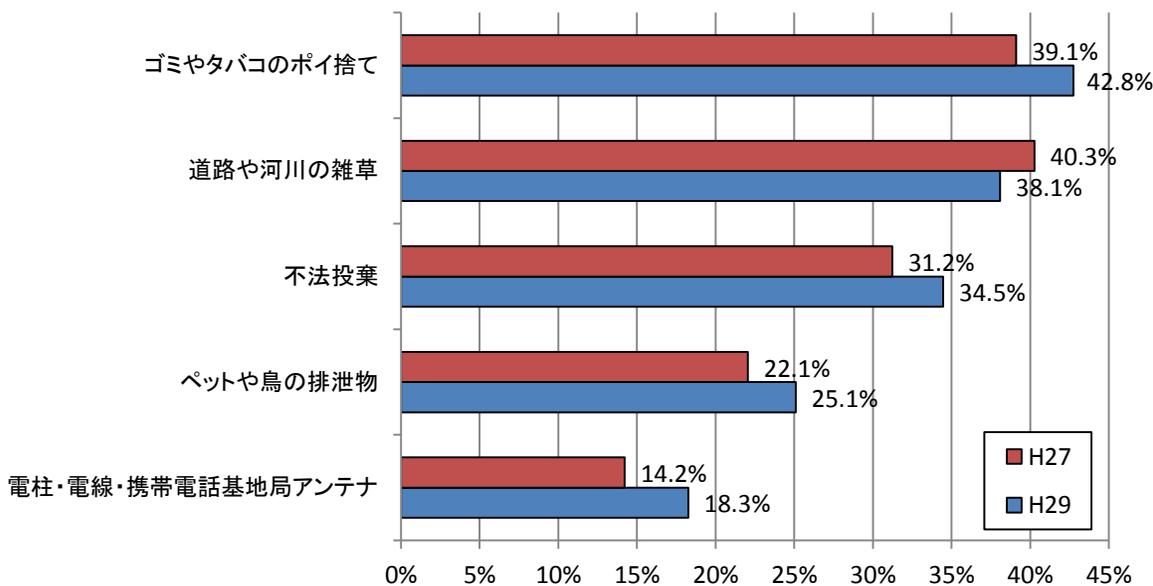
※複数回答

11 景観・環境の保全と創造について

問38・39 景観を損ねているものや景観の保全について

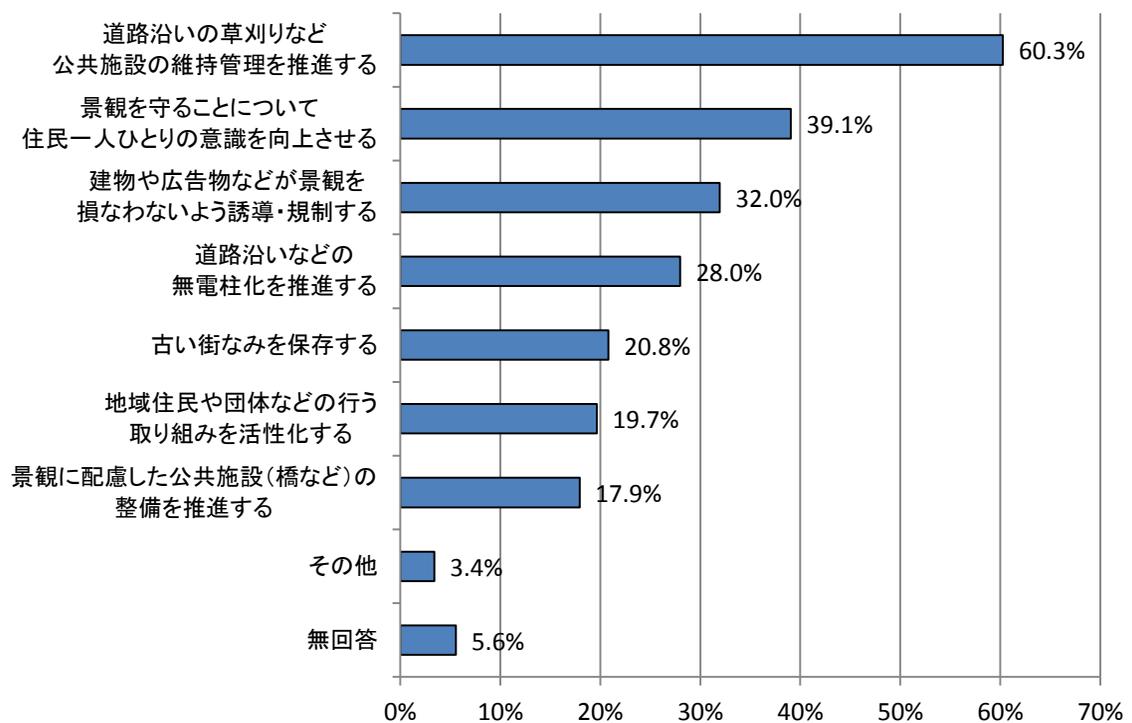
- ・地域で景観を損ねているものは、「ゴミやタバコのポイ捨て」(42.8%)が1位で、平成27年(39.1%)から3.7ポイント増加した。
- ・景観を守るため、行政が力を入れて取り組むべきことは、「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」(60.3%)が1位だった。

問38 地域で景観を損ねているもの



※3つ以内で複数回答
※上位5項目

問39 景観保全のために力を入れるべき施策



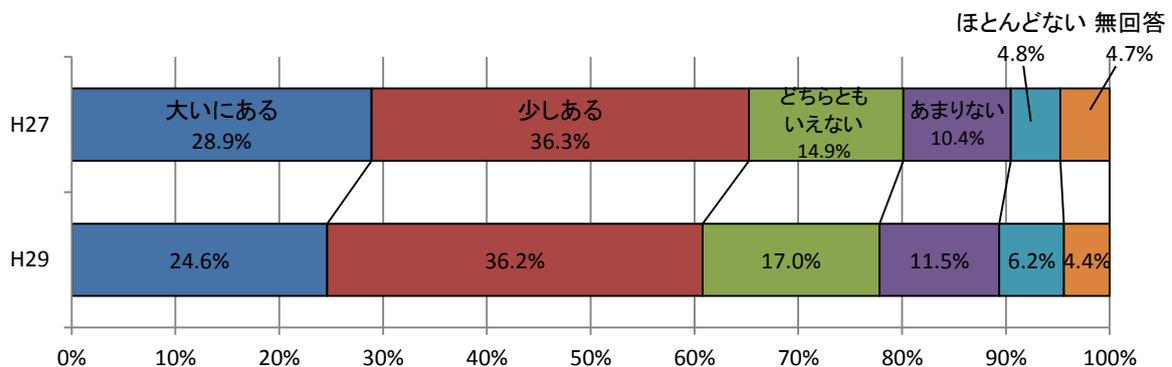
※3つ以内で複数回答

12 エネルギー政策の推進について

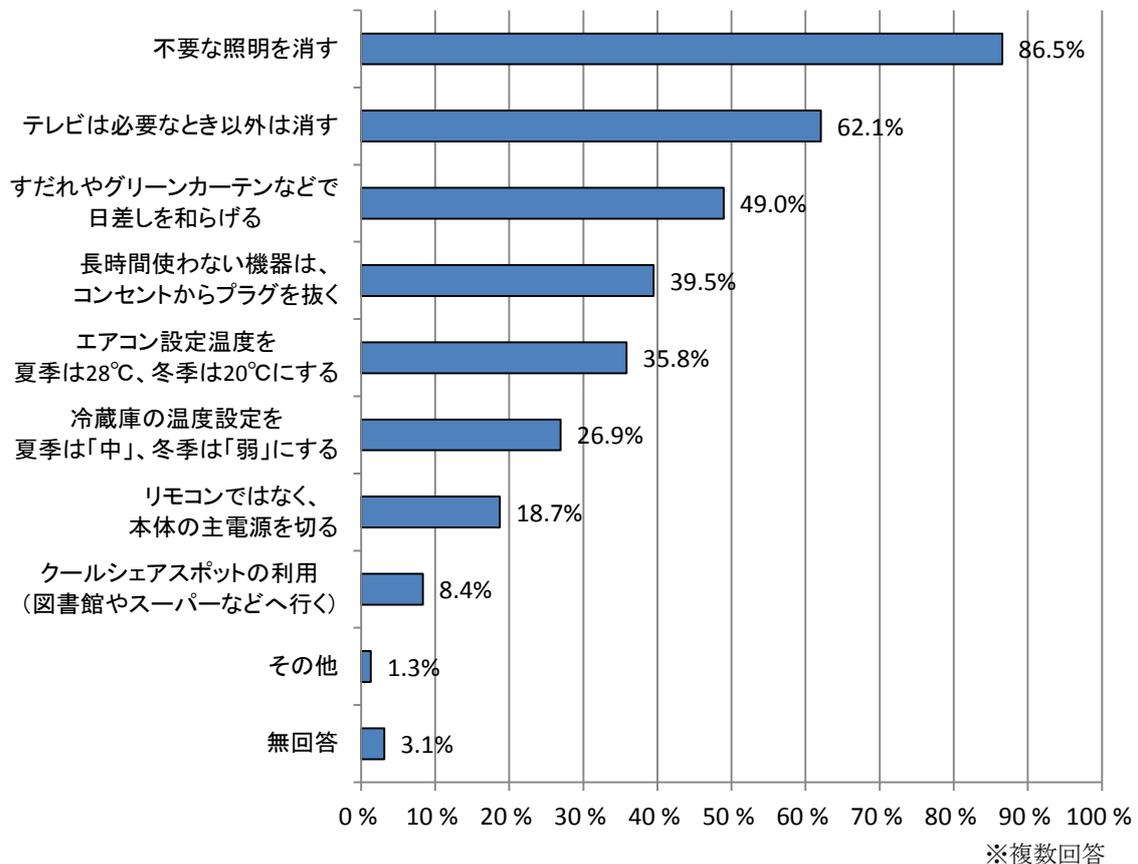
問40・42 再生可能エネルギー等の利活用や省エネ・節電について

- ・「再生可能エネルギー等の利活用」への関心について、「大いにある」または「少しある」(60.8%)が、「あまりない」または「ほとんどない」(17.8%)を大きく上回っている。「大いにある」または「少しある」は、平成27年(65.2%)より4.4ポイント減少した。
- ・省エネ・節電のため、日常的に取り組んでいるものは、「不要な照明を消す」(86.5%)が1位だった。

問40 「再生可能エネルギー等の利活用」への関心



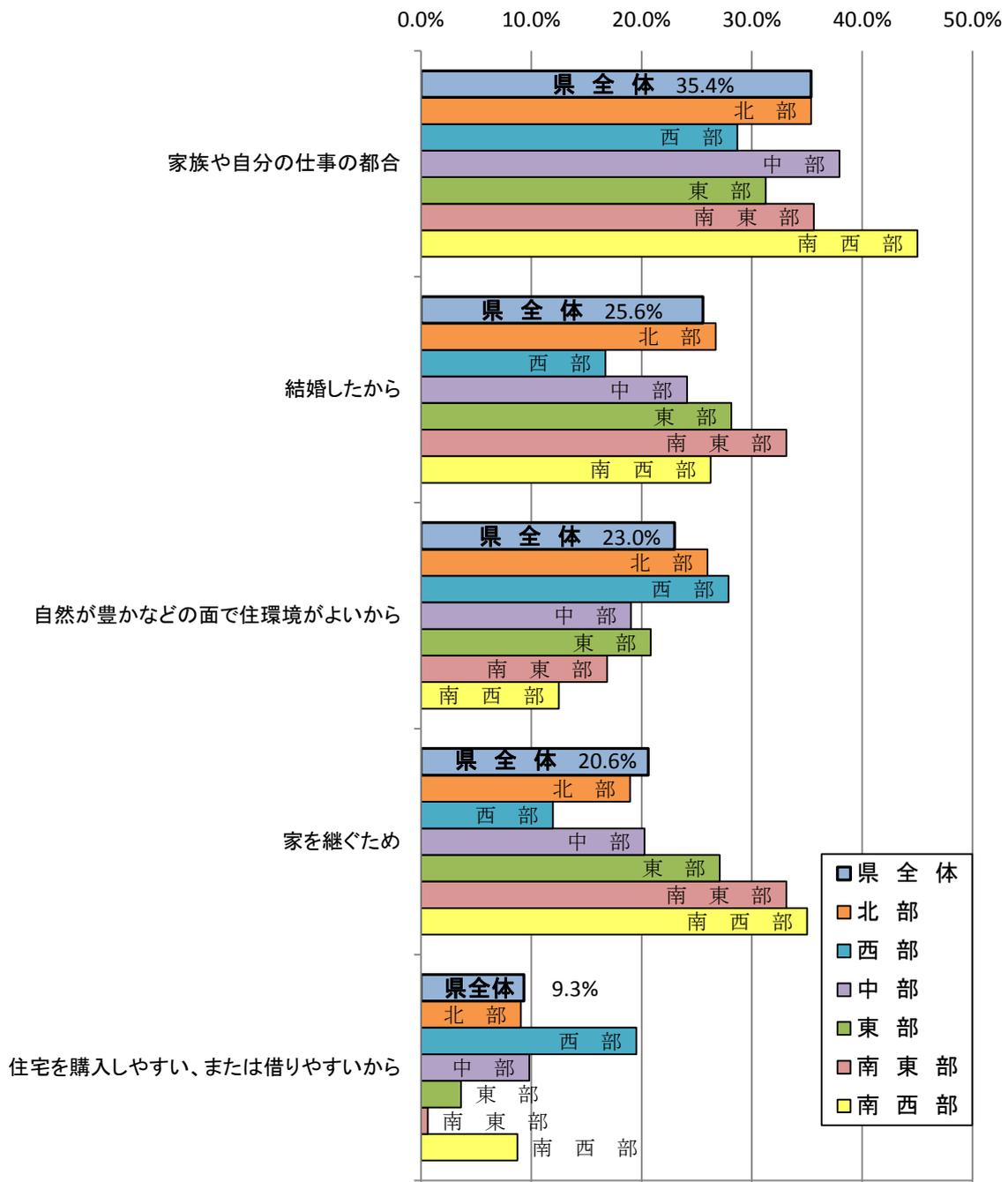
問42 省エネ・節電のための日常的な取組状況



13 回答者に関すること

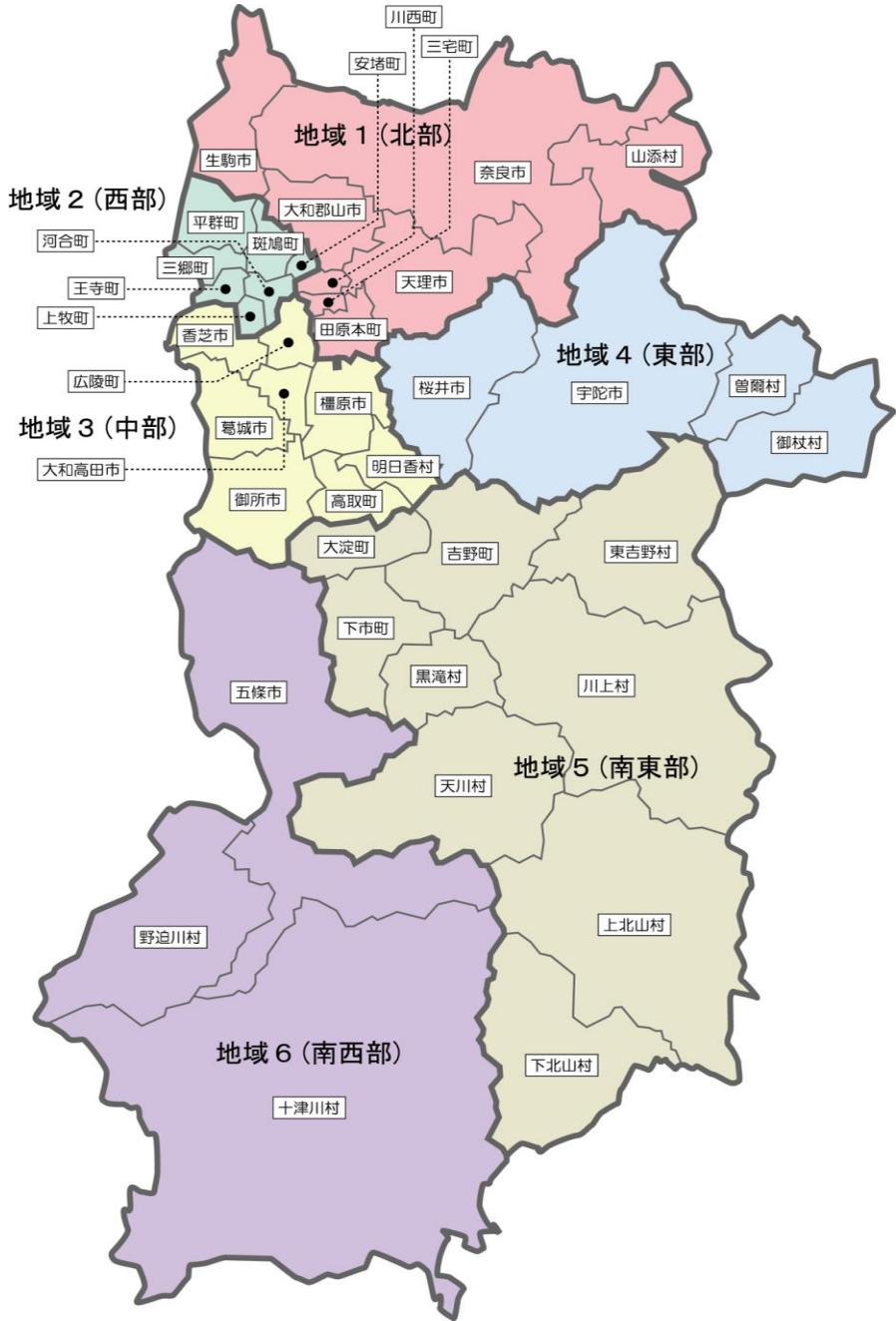
問50 奈良県での居住理由

- ・ 県全体では「家族や自分の仕事の都合」(35.4%)が1位。また、すべての地域においても1位。
- ・ 西部では「住宅を購入しやすい、または借りやすいから」が多い。
- ・ 南東部、南西部では「家を継ぐため」が多い。



※2つ以内で複数回答
※上位5項目

地 域 の 区 分



区分名	市 町 村 名
地域1 (北部)	奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2 (西部)	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3 (中部)	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4 (東部)	桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
地域5 (南東部)	吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6 (南西部)	五條市・野迫川村・十津川村